デザイナーのための経済コラム（72）

世代交代、新陳代謝、バイタルサイン（Bital Sigin）

生命体として動物も植物も寿命があります。個体や種によって長短の違いがあっても必ず寿命があります。人間は家族、種族、民族の繁栄を祈り、子や孫の誕生を祝い、天寿を全うすることを願います。ブッダは人の誕生から死までを苦の始まりと苦の終わりと悟りました。どの宗教も生死については最大の関心事としているように思います。主要な宗教はそれぞれの死生観を持ち、信者を作り、信者を動かしています。

生命の定義は生物学の進歩と共に進歩しています。生物学の専門家でない人は生物学の学説の概要を理解して、比喩として活用しています。いまも多く活用されているのはﾁｬｰﾙｽﾞ･ﾀﾞｰｳｨﾝの「種の起源」で提唱された”自然淘汰（Natural Selection・自然選択）”かと思います。”自然淘汰”は経済競争の場合にも、事業継続の場合にもその結果の理由に比喩としていわれることがあります。生命の定義として次の7項目が生物学者の間で一般的に共有されているようです。

恒常性・・・・安定的、健康であることに個体自身で調整しようとする。
組織化・・・・細胞を、恒常性を維持するために機能を分担化しようとする。
代謝・・・・・・個体の維持に不要になった物質を捨て、新たに必要な物質を外部から取り入れようとする。
成長・・・・・・細胞の数を増やし、細胞の機能を強化しようとする。
刺激に対する反応・・・・個体外部からの物理的、化学的刺激（天候・食物・肥料・外敵など）に対応しようとする。
生殖・・・・・・個体は有性・無性の増殖によって永続しようとする。
https://ja.wikipedia.org/wiki/生命

死は上記の7つの活動が同時に停止すのでなく、段階的に臓器機能が停止していきます。臓器が段階的に機能停止するから、臓器移植が可能なのだと思います。臓器が活動していること、生きていることを知らせるもがのﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝです。ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝという言葉は比喩としても時々使われています。個人や組織が活動の情報を発信されていないとき、ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝがない、などと言われます。

ニチェは「神は死んだ Gott ist tot」と言いました。 https://ja.wikipedia.org/wiki/神は死んだ
神が生きていることを比喩としていうとすれば、神は生きることに必要な上記の7つの項目に応えなければならなくなります。神のﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝを、宗教のﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝを示すことが宗教界に必要かと思います。

天文学者は宇宙の星々にも誕生と死滅の寿命はあると言います。太陽の寿命は100億年、現在は46億年歳。歴史学者は国にも、文化にも誕生と滅亡があることを認識し、その原因・背景を考察しようとしています。宗教学者は宗教の多くが死語の世界があるとして、輪廻転生、地獄極楽、神の創世説は過去には真実とされていたが、現代は比喩としては通じても、真実としては通じないと思っていると考えます。
経済学者は経済を、経営学者は経営を生物学者が考える生命の定義に似たものと考えていると思います。

経済学では「輪廻」のように景気は循環するとして、その周期を次のように大きく4つに分類しています。景気がどの段階にあるのかを経済政策の材料にしているようです。企業の経営者も経営計画を作成し、経営判断する材料にしていることと思います。

短期波動（約40か月） ： 企業の在庫変動に起因する短期的な景気変動・・・・天候に左右される一次産業
中期波動（約10年） ： 設備投資の周期に関連する景気変動・・・・・・・・・・・・耐用年数がある機器、自動車
長期波動（約20年） ： 建築物や施設の更新周期による景気変動 ・・・・・・・・摩耗、劣化、流行
超長期波動（約50年） ： 技術革新や社会構造の変化に伴う長期的景気変動・・・人口動態、産業構造の変化

商品としてのモノ、コトには寿命Life Cycleがあり、当然、開発・生産、維持管理、廃棄の過程でコストが掛かります。ｺｽﾄﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽを上げる工夫ﾄｰﾀﾙで評価されます。どんな事業にもｺｽﾄ（人、物、金、時間）は不可欠です。適正なｺｽﾄを掛けたいとだれもが考えます。適正であったかどうかは結果次第です。終わりよければすべて良しと一般にはされています。


中銀ｶﾌﾟｾﾙﾀﾜｰﾋﾞﾙ

建築家で建築を生命体のように変化するものとして認識したのは黒川紀章だと思います。彼は建築をﾒﾀﾎﾞﾘｽﾞﾑ・新陳代謝するものと考え、設計したのが「中銀ｶﾌﾟｾﾙﾀﾜｰﾋﾞﾙ」でした。 https://ja.wikipedia.org/wiki/中銀カプセルタワービル

ﾒﾀﾎﾞﾘｽﾞﾑ建築の考え方は日本の伝統的建築に多く見られるものです。伊勢神宮の式年遷宮は技術の伝承と現代のｻﾌﾟﾗｲﾁｪﾝ・資材の供給体制、資材のﾘﾕｰｽが典型的な例かと思います。その他にも継ぎて、台継ぎ、畳、障子ふすまのﾓｼﾞｭｰﾙは互換性、補修性を考慮したﾒﾀﾎﾞﾘｽﾞﾑ思考と思います。


第62回式年遷宮に伴い建てられた外宮別宮多賀宮の新旧社殿（2013年）

さらには、映画、演劇、音楽、出版、ﾌｧｯｼｮﾝの世界ではﾘﾊﾞｲﾅﾙ、ﾘﾏｲｸ、ﾘｻｲｸﾙ、ﾘﾕｰｽ、復刻版があります。古い世代には振り事でも、新しい世代には知らないことが新鮮に感じられということかと思います。
https://www.isejingu.or.jp/sengu/
https://ja.wikipedia.org/wiki/神宮式年遷宮

（T.K.）